

演出の極意を聴く！

関西の演劇シーンをリードする、演出家
12名によるトークショー。

片岡百萬両
Kataoka 100000r

10/15 MON 19:00 ~ 20:30
おもちゃばこをひっくりかえそう

山浦 徹
Yamaura Tohru

10/22 MON 19:00 ~ 20:30
思いついたら全部やれ

石原正一
Ishihara Shoichi

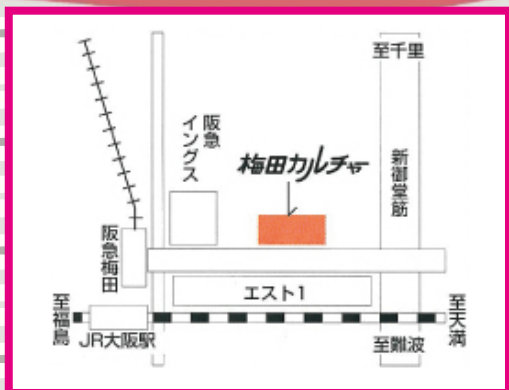
10/29 MON 19:00 ~ 20:30
ライバルをつくれそして勝て
～やってみたらいいんですよ～

上田 一軒
Ueda Ikken

11/5 MON 19:00 ~ 20:30
(作家でもない)
俳優志望だったからこそ。

演出家・俳優養成セミナー2012
演劇大学 in 大阪 2012年 9月ー12月

IN 梅田



会場
梅田カルチャー 4Fホール

〒530-0013
大阪市北区茶屋町1-7 梅田カルチャービル

会場へのアクセス

- 地下鉄御堂筋線梅田駅・阪急梅田駅より徒歩約2分
- JR大阪駅・地下鉄谷町線東梅田駅・阪神梅田駅より徒歩約3分
- 地下鉄四つ橋線西梅田駅より徒歩約5分

◎第2期◎
エンターテイメントの
旗手たち



関西を創造する、気鋭の演出家たちによるトークショー！ 全3期。第2期は「エンターテインメントの旗手たち」。

独自の文化で東京に対抗する京都。近年、文化への抑圧が強まる大阪。どの地にあっても、いつの時代も演劇人は「自己と社会とのかかわり」を背景に、あくなきパワーで観客を撃つ。関西を基盤に活躍を続ける演出家たちの作品創造の原点を探る。演劇を創造する人も観る人も、はたまた、教える人も学生・高校演劇に携わるひとにも、必聴の演劇講座。



「おもちゃばこを ひっくりかえそう」

10月15日(月)19:00~20:30 片岡百萬両

考え事をするのは、立ち上げたばかりのPCモニターの前ではなく、トイレです。肉体的にも一番アナログな状態で考えたりする。それから遊び心と子供心。大切にしています。発想の連続でオモチャ箱がひっくりかえったような作品になるといいです。

片岡百萬両 (ミジンコターボ)

1978年生まれ、熊本県出身。2003年ミジンコターボを結成。ロクソドンタフェスティバル二年連続最優秀賞、一心寺シアター倶楽7・5・3企画、優秀演出賞、最優秀主演男優賞、他受賞。脚本、演出、出演、宣伝美術とマルチに活動を広げる。多数の外部舞台作品に参加。活動拠点は大阪、東京が中心。劇団外にもシナリオの寄稿もしばしば。またコントなどの活動もしており、短編のコント作品も作る。演劇講座もやる。ギターも弾く。イラストも書く。器械体操もやる。やる。なんでもやる。肩書きはいらない。



「思いついたら全部やれ」

10月22日(月)19:00~20:30 山浦 徹

その時にやりたいことはその時の芝居に全部ぶち込む。思いついたアイデアの出し惜しみはしない。そうしてぶち込んだものを少数の役者たちでいかに組み上げるか。化石オートバイの舞台裏をお話します。

山浦 徹 (化石オートバイ)

劇作家・演出家・役者。1999年に自身が主宰を務める劇団である化石オートバイを旗揚げ。以降大阪を拠点にコンスタントに作品を発表し続ける。一人多役/多人数一役で構築される、目まぐるしく展開し拡散する万華鏡的な劇世界が特徴。劇団外への戯曲提供及び演出も多数。近年ではまったく作風の異なる他作家の戯曲の演出にも取り組んでいる。また、役者としての外部出演も多数。



「ライバルをつくれそして勝て ～やってみたらいいんですよ～」

10月29日(月)19:00~20:30 石原正一

「何か面白いことないか」と中学時代放課後に水を掛け合い、高校時代体育館裏に穴を掘り。そして19才で出会った「演劇」その面白みを知ってからこれまでに作り続けたパロディ芝居の数々を秘蔵映像を交え解説します。アラフォー世代の石原から若者の皆様へ、ライブの素晴らしさ、伝えたい演劇愛を大放しだ！

石原正一 (石原正一ショー)

石原正一ショー主宰。役者、作家、演出家、振付家。1989~99年、劇団そばこまに所属(当時座長は生瀬勝久氏)。1995年、「石原正一ショー」旗揚げし、『野球狂の詩子』『ハリーポタ子』『天使だらけの傷』など、漫画映画を基にサブカル風ドタバタ演劇を呈示。「楽しくなければ演劇じゃない」関西演劇界の年末恒例行事として尽力する。自称「80年代小劇場演劇の継承者」。肉声肉体を酷使し漫画の世界を自身で表現する「漫画朗読」の元祖。近年は『NMS グレイテストヒッツ』2年がけて上演した60分二人芝居全10作品を2週間で連続出演(内、7作を演出)達成。未だ観劇演劇を求める男。



「(作家でもない) 俳優志望だったからこそ。」

11月5日(月)19:00~20:30 上田一軒

もともと自分は役者がやりたかったんですけど、まあ、やってるうちにいろいろと会話劇の演出に必要な技術に気付きました。そういう経験上、自分が身に付けてきた演出する上での技術なことを、お話しできたらと思います。

上田一軒 (スクエア)

俳優・演出家。1972年生。兵庫県出身。近畿大学在籍中は演劇部覇王樹座で活動。卒業後、大学OB劇団を経て、1996年スクエア結成。リーダーとして劇団の全公演を演出し、出演する。独特な人間描写で大阪屈指のコメディ集団として人気を博し、海外から「釜山国際演劇祭2005」に招聘されるなど、各方面で評価を得る。役者としても文学的作品からエンターテインメント作品まで幅広い出演の依頼があり、さまざまなキャラクターを演じられる俳優として評価を得ている。また、コメディの演出家として劇団外でも活躍。近年は「エダニク」「目頭を押さえた」など、劇作家・横山拓也氏と組んだ緻密な会話劇の演出でも評価を得ている。賞歴、なし。

参加費
(各回)

一 般 ◎1000円

学生 & 高校生 ◎500円 (要学生証提示)

会場には入場定員(30人)がございますので事前予約いただいた方を優先します。当日お越しいただいてもかまいませんが念のためご予約をお願いいたします。

お申込・お問合せ

日本演出者協会 関西ブロック事務局

e-mail kansaiblock@yahoo.co.jp

☎080-4025-2202 (関西ブロック事務局)



日本演出者協会

JAPAN DIRECTORS ASSOCIATION

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎3F TEL: 03-5909-3074 / FAX: 03-5909-3075

E-mail: j_d_a_info@yahoo.co.jp HP → http://jda.jp/

【関西ブロック役員】 菊川徳之助・木嶋茂雄・深津篤史・田中孝弥・井之上淳・堀江ひろゆき・森本景文・今泉おさむ・木田昌秀・坂手日登美・金子順子・山本つづみ・椋平淳・笠井友仁・山口浩章・中嶋悠紀子